

第二次紀宝町地域福祉(活動)計画の概要③

「計画を進めるために」!

↳推進委員会設置↳

紀宝町地域福祉(活動)計画が、きちんと実施されているか、またどのように進めていったらよいかを検討する推進委員会が設置されました。

今年度は、次の3つの推進チームに分け、計画を実行していきます。

■地域懇談会推進チーム

各地区でご意見をいただく場として、また気軽に集える場づくりのきっかけのために活動します。

■ふくし委員推進チーム

紀宝町の福祉をよりよいものにしていくため、ふくし委員の創設について検討していきます。

■ひきこもり支援チーム

この地域の実情を把握し、本人や家族がどのような支援が必要なのかを検討していきます。

コラム

「有償の活動」

(住民参加型在宅福祉サービス)

1980年代に「無償」での支え合い活動が継続することにより、お願いしづらくなったり、手伝う側が負担に感じて活動の継続が難しくなる事態がおきました。

そのような問題解決のために低額な謝礼や、チケットによる支払い、活動時間を通帳式に記録してやりとりするなどの「有償」の活動が開発されました。

これらの活動を「住民参加型在宅福祉サービス」等と呼びます。紀宝町社協の「困ったときはお互いさん!」事業も、ここに含まれます。

ボランティアな活動に対価が支払われる活動が「有償ボランティア」と呼ばれることもあります。この呼び方に対しては、「ボランティア活動の原則と“有償”が矛盾する」など反対意見もあることから、少々長いですが「住

民参加型在宅福祉サービス」という呼称が用いられるようになりました。



困った時はお互いさん事業「おかずのおすそわけ」

※第二次紀宝町地域福祉(活動)計画書より抜粋

社会福祉法人 紀宝町社会福祉協議会

紀宝町鶴殿一〇七四番地一

電話 〇七三五―三三〇九五七

E-mail honsho@kino-shakyo.or.jp